

# 一般質問

## 現実的な風水害マニュアルを

### 安全安心対策に努めていきたい



伊澤 伸一 議員



地区防災訓練（坂崎学区）

令和元年は、全国各地で過去にない規模での風水害に見舞われた。風水害への備えと対応を問う。

**問** 過去3年間の、災害の発生状況は。  
**答** **総務部長** 平成29年度0件、30年度3件、令和元年度1件。

**問** その時の対応で、反省点は。  
**答** 避難所に必要な資機材が整備されていない。自主防災組織の体制が確立されていない現状で、情報共有が不足していた。

**問** 防災計画との整合性は。マニュアルは整備されているか。  
**答** 小中学校の備蓄倉庫、町内3力所の防災倉庫に備えてある。全23区の地区拠点避難所、公民館等には備えていない。

**問** 地域防災計画の避難所の開設・運営に基づき対応、マニュアルは現在、内容の見直し中である。  
**問** 避難所開設中に、停電が起きても問題なかったか。

**問** 避難所に必要な資機材を、一つにまとめておく考えは。  
**答** 備蓄倉庫に「避難所開設セット」が整備されている。今後、地区避難所公民館等にも備えていきたい。

**問** 風水害の都度、評価・反省をして、より対応力の高い現実的な風水害マニュアルに、随時見直す考えがあるか。  
**答** **町長** 現実化した具体

的なマニュアルの必要性を十分認識して、安全安心対策に努めていきたい。

**問** 観光行政は費用対効果が判断できるか検証

**答** より効果が得られるか検証

**問** げと総費用は。  
**答** 売上12万7200円、総費用122万2600円。本町が加盟している口ケツリズム協議会加盟の自治体は。

**問** 東海地方の正会員は、蒲郡市、飛騨市、下田市、静岡県と本町。協議会参加自治体は、岡崎市、浜松市、四日市市を含め、全国で195市町村が参加。

**問** 観光行政は、費用対効果が判断すべきと思うが、幸田町を売り込めるか、何ができて、どう発展させて、より効果が得られるかなど、検証しながら進めていく。

**問** 町内8店舗で取り組む角煮バーガーの半年間の販売状況は。  
**答** **環境経済部長** 3531個販売で約200万円売上。  
**問** 職員22人で参加した、ふるさと甲子園の売り上



水野千代子議員

# 問 世代間交流の居場所の食堂を

## 答 高齢者にも提供できる仕組みで

令和元年は10月「食品ロス削減推進法」が施行。

**問** 平成28年12月の一般質問で、食品ロス削減など提案したが、その後の取り組みは。

**答** **【教育部長】** 学校では、自分の食事に合わせ調整し、食べ切るよう教育している。

**【環境経済部長】** 30・10運動の啓発チラシの配布をするなど、食品ロス削減推進法の趣旨に沿った

政策を進めていく。小中学校は、3月2日から臨時休校となっている。

**答** **【教育部長】** 給食の停止を決定。多くの物がキャンセル出来た。

**問** 食品ロス現況調査を行い、「食品ロス削減推進計画」の策定を。

**答** **【環境経済部長】** 生ごみの食品ロスは、令和2年度から調査する。近隣市町を参考に、町



セカンドハーベスト名古屋山内理事長の講演（上）  
「もったいない」を「ありがとう」に  
フードバンク（左）

の特性に合った、食品ロス削減推進計画を策定。食べられるのに捨てられる食品ロスを寄付してもらおう、フードドライブの実施を。庁舎内やイベントで。

**答** フードドライブの活動の為に、活動団体に広報周知や実施場所提供の支援を行っている。

**問** 子どもや高齢者の孤食を防ぎ、地域の世代間交流の居場所となる、「子ども食堂」を。

**答** **【健康福祉部長】** 誰でも参加できる「子ども食堂」の開催を考えているが、そこまで至っていない。

**【町長】** 「子ども食堂」の必要性は感じている。高齢者の方々にも安い料金、美味しい食材を提供できるように取り組む。

**問** 行政手続き案内をHPに掲載を  
**答** 大変有効な手段だと考える

配偶者や親がお亡くなりになった後に、遺族が行う

行政手続きの負担を少なくするために、以下を問う。

**問** 葬儀後の行政手続き申請書の種類は。  
**答** **【住民こども部長】** 最大で20種類位ある。

**問** 申請手続きの所要時間は。  
**答** 通常1時間、最大で2時間程度。

**問** 「行政手続き案内」として、各種保険や年金などの届出、必要書類の一覧をホームページに掲載を。  
**答** 他市町村を参考に内容を検討する。大変有効な手段だと考えている。

**問** ひとつの窓口で申請できるように、ご遺族支援（おくやみ）コーナーの設置を。  
**答** ワンストップサービスで、「おくやみコーナー」の形を執っている。

**【町長】** 職員同士で研究し、皆さまに喜ばれる窓口の体制づくりに努力する。